

## ローマ字を表示しよう

～ローマ字をプログラムを使ってmicro:bitに表示しよう～

## 単元名：ローマ字

## 単元の目標

💡 日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で表すことができる。

## 本時で育む情報活用能力

## 【基本的な操作の習得】

- ・ ローマ字入力で文字が入力できる。
- ・ マウス、キーボードの使い方について理解する。

## 【プログラミング的思考】

- 〈抽象化〉 意図通りにmicro:bitを動作させるための命令を記号に置き換える。
- 〈組み合わせ〉 micro:bitにローマ字を表示させるために、命令の組み合わせを考える。

## 必要なICT環境

- ・ 使用端末 コンピュータまたはタブレット型PC
- ・ 使用教材 micro:bit (マイクロビット)

## 授業の流れ

	児童の学習活動	教員の指導・留意点
導入	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ローマ字は母音と子音から構成されていることを復習する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ ローマ字の表記の仕方について振り返らせる。</li> </ul>
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ローマ字をマイクロビットに表示しよう</div> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 学習のめあてを持つ。</li> <li>・ micro:bitに文字を表示させる方法を知る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 学習のめあてを確認させる。</li> <li>● 「micro:bitに自分の名前を表示させましょう」</li> <li>◎ micro:bitに文字を表示させるプログラムを理解させる。</li> </ul>
展開	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 表示させたい言葉を考え、ローマ字で表示させるプログラムをつくる。</li> <li>・ micro:bitに表示させたローマ字を友だちに、読んでもらい誤りがないか確認し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「自分の好きな言葉をmicro:bitにローマ字で表示させましょう。プログラムができたら、友だちに見せて読んでもらいましょう」</li> <li>◎ プログラムに手間取っている児童に対して、机間指導する。</li> <li>● 「micro:bitがローマ字を表示するための条件をつけて、プログラムをつくってみましょう」</li> <li>◎ 条件によって表示される文字が変わるプログラムもできることを伝える。</li> <li>◎ 意図した動きにどうすればできるか気づかせる。</li> <li>◎ プログラムができたら友だちと交流させる。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 意図した動きをするプログラムになるよう試行錯誤する。</li> <li>・ 条件によって表示するローマ字が変わるプログラムを作成する。</li> <li>・ ローマ字の表示方法について交流し、自分のプログラムにいかす。</li> </ul>	
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ノート等に学習の振り返りを書く。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「今日の学習で分かったことや思ったことを書きましょう」</li> <li>◎ 単元目標である、「ローマ字の理解」と、情報活用能力の両方の観点で振り返らせる。</li> </ul>